

と味一して楢岡の領北平沢の城山岡伊豆守門至北城官
川玄蕃原義重石の西城を攻落し其勢ハ小笠原ト
道盛公北家人八柳采女が薨りたる山田の城を打かみ
荒を令移く攻るし角館を注進す北浦ふも小笠原
北余頼方く少^サ支へく道盛公安き所にもかく内越赤
津の者共みも山田を奪取しハ下枝を押領したる
甲斐おくは山田界記戸は相援前將監田平次郎
井園五郎八小二百余人を率ゐて山田小笠原自^ミ楢岡
の後援として角館を打之福原は陳取七月四日軍こ
定らる日戸は秋田大会戦同日小笠原尾張下枝と

りし取立おくは打越赤津と合戦以時楢岡が家人松本
善十郎先^ハ進んで羽川瀬兵衛を討取松本度くの
武功を称して家名を長野と改長野大和守と名を
其後伊南横北川田北者共々山田に歸り居たりと
其中小木村石見川原とあり者あり此兩人ハ秋田
屬しこれ等も葉田として天文十一年秋田愛季
其勢式千余騎長井表江上張一六郷の城をせんと
儀しあり処ハ愛季又例お依て保田に歸陳是を
聞六郷を打立築田北城に向ひし道盛公ハ六郷へ力
を合せ進八柳采女田平次郎東山淡路ハ三百余人